

グローバル社会におけるICT政策に関するタスクフォース
地球的課題検討部会

ICTで夢を作れるプロジェクト

高齢者・障害者・子ども・外国人

平成22年1月29日

喜多 伸一

「地球的課題」の全体像

i-Japan戦略2015

電子政府・電子自治体

医療・健康

教育・人財

村上座長代理(第2回会合, 11月27日)

医

食

住(環境)

地球

日本

地域

個人

医

療

・

健

康

環

境

・

住

教

育

・

人

財

電

子

政

府

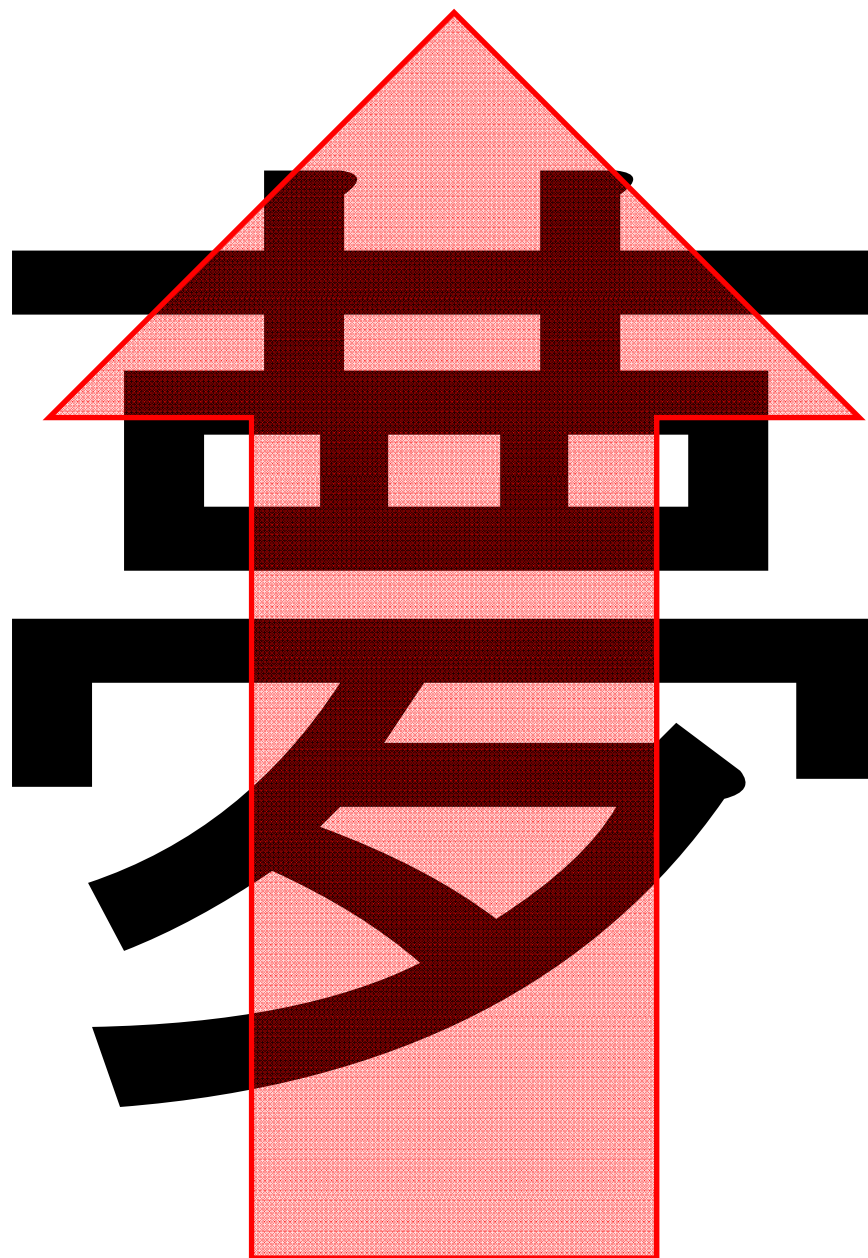
食

地球

日本

地域

個人



高齢者・障害者・子ども・外国人

個人に立脚したICT利活用

ICT技術の有用性

開発技術の移転可能性

地域との連携性

高齢者の問題

介護 → 就労・社会参加

身体的な面と精神的な面の補助

加齢の影響は各人共通 → ICT技術の対象規模大
(企業だけでは開発負荷大)

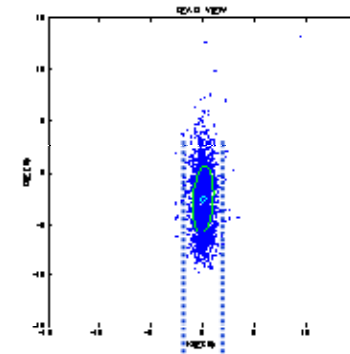
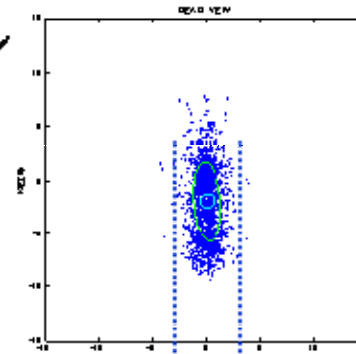
片麻痺患者のリハビリテーション支援

ロボットスーツ
訓練前

訓練後



ボタン



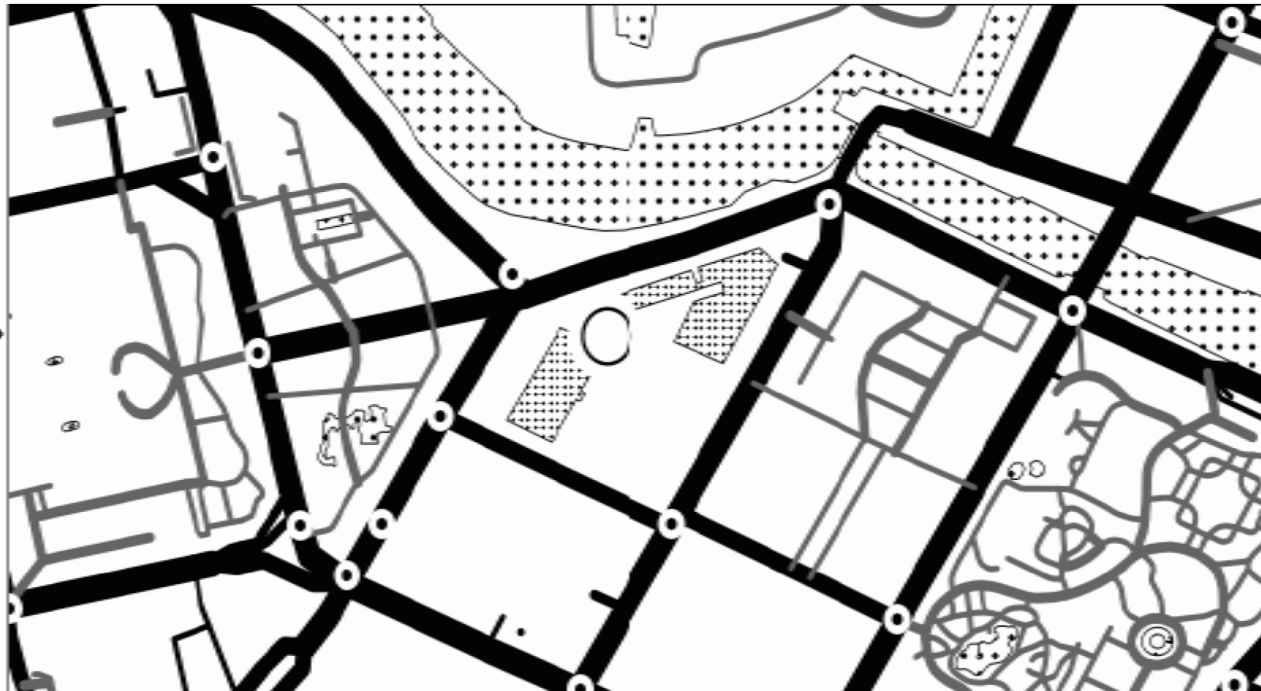
障害者の問題

介護 → 就労・社会参加

ICT技術(ウェブ読み上げ, 手話通信, 触地図...)

社会・地域との連携が必要

障害や重度は多様 → ICT技術の対象規模小



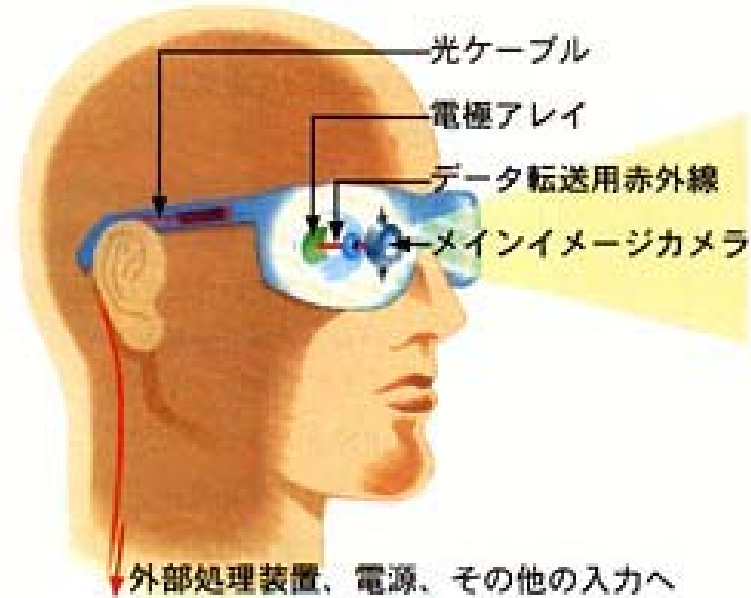
脳とBMI (ブレインマシンインタフェース)

高齢者・障害者が抱える問題解決に応用
脳科学・医学・工学・心理学などの融合
飛躍的技術進歩(機器操作・医療・軍事)
優れた科学技術と愚かな議論の混在

脳でロボットを操作



感覚代行(人工視覚)



子どもの問題

ICT利用者の若年化

学齡以前の幼児のICT利用

少子社会 → 幼児が触れる情報の管理・解析
幼児ICTの日本モデル



NHK キッズワンダーランド

外国人の問題

鉄腕アトムは60カ国語を話す(夢を作る！)
ここ20年あまりは、

異文化コミュニケーション = 自動翻訳
アジア言語の多様性への対応が必要
将来は、異文化理解へのICT利活用

